

ゼストリル錠 5
ゼストリル錠 10
ゼストリル錠 20

【この薬は？】

販売名	ゼストリル錠 5 ZESTRIL Tablets 5	ゼストリル錠 10 ZESTRIL Tablets 10	ゼストリル錠 20 ZESTRIL Tablets 20
一般名	リシノプリル水和物 Lisinopril Hydrate		
含有量 (1錠中)	5.45mg (リシノプリル無水物と して5mg)	10.9mg (リシノプリル無水物と して10mg)	21.8mg (リシノプリル無水物と して20mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アンジオテンシン変換酵素阻害剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・アンジオテンシン変換酵素（ACE）の働きを阻害することで、血管を収縮する作用のある体内の物質（アンジオテンシンⅡ）の生成を抑え、血圧を下げます。また、水分などの腎臓での再吸収を抑えて体内に貯まる水分量を減少させ、心臓への負荷を軽くすることで、血液の流れを改善させます。
- ・次の病気の人に処方されます。

高血圧症

下記の状態で、ジギタリス製剤、利尿剤等の基礎治療剤を投与しても十分な効果が認められない場合

慢性心不全（軽症～中等症）

- ・慢性心不全（軽症～中等症）に使用する場合は、ジギタリス製剤、利尿剤などと併用されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にゼストリル錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・サクビトリアルサルタンナトリウム水和物を投与中の人又は投与中止から36時間以内の人
- ・過去に血管浮腫になったことのある人
- ・アフレーシス^{*1}を受けている人で、デキストラン硫酸固定化セルロース、トリプトファン固定化ポリビニルアルコールまたはポリエチレンテレフタレートを用いた吸着器を使っている人
- ・血液透析^{*2}を受けている人で、アクリロニトリルメタリルスルホン酸ナトリウム膜（AN69）を使っている人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・アリスキレン（ラジレス）を使用している糖尿病の人（ただし、その他の血圧を下げる治療を並行して行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）

※1 アフレーシス：患者さんの血液中から不必要な成分を取り除いて、浄化した血液を再び患者さんに戻す方法

※2 血液透析：患者さんの血液を体外へ送り出し、人工腎臓（透析装置）で血液中にたまった老廃物を取り除き、水や電解質のバランスを整え、きれいになった血液を再び患者さんに戻す方法

○次の人は特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

[高血圧症の場合、次の人]

- ・重い高血圧症の人

- ・ 厳重な減塩療法中の人
- ・ 過度の血圧低下により心筋梗塞、または脳血管障害の危険性のある人
- ・ 血液透析中の人

[慢性心不全（軽症～中等症）の場合、次の人]

- ・ 厳重な減塩療法中の人
- ・ 低ナトリウム血症の人
- ・ 低血圧の人
- ・ 過度の血圧低下により心筋梗塞、または脳血管障害の危険性のある人
- ・ 大動脈弁狭窄症又は閉塞性肥大型心筋症のある人
- ・ 腎臓に障害のある人

[効能共通]

- ・ 腎動脈狭窄のある人
- ・ 高カリウム血症のある人
- ・ 脳血管に障害のある人
- ・ 腎臓に重い障害のある人
- ・ 授乳中の人

○この薬には次のような併用してはいけない治療法があります。アフレーシスや血液透析を受ける場合は、必ず医師に相談してください。

- ・ アフレーシスでデキストラン硫酸固定化セルロース、トリプトファン固定化ポリビニルアルコールまたはポリエチレンテレフタレートを用いる場合
- ・ 血液透析でアクリロニトリルメタリルスルホン酸ナトリウム膜を用いる場合

○この薬には併用してはいけない薬 [サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物（エンレスト）]、[アリスキレン（ラジレス）（糖尿病の人の場合、ただし、他の血圧を下げる治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状や腎機能などにあわせて、医師が決めます。通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

[高血圧症の場合]

[成人の場合]

1 回量	10 ～ 20mg
飲む回数	1 日 1 回

- ・ 重い高血圧または腎障害を伴う高血圧症の人は 5 mg から飲み始めることがあります。

[6歳以上の小児の場合]

1回量	0.07mg/kg
飲む回数	1日1回

・6歳以上の小児が飲む場合は1日20mgを超えません。

[慢性心不全(軽症～中等症)の場合]

1日量	5～10mg
飲む回数	1日1回

- ・ジギタリス製剤、利尿剤などと併用します。
- ・腎臓に障害がある人は2.5mgから飲み始めることがあります。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を1度に飲まないでください。

気がついた時に1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時(過量使用時)の対応

過度の低血圧があらわれる可能性があります。

立ちくらみやめまいがあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがあるため、高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
- ・手術前24時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、必ずこの薬を飲んでいることを医師に伝え、医師の指示に従ってください。
- ・この薬の飲み始めに一時的に急激な血圧の低下(立ちくらみ、めまい、頭痛)があらわれることがあるため、そのような場合には、医師に連絡してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用している[飲んでいる]ことを医師または薬剤師に伝えてください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ <u>妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。</u>・ <u>この薬を使用中に妊娠が判明した場合や妊娠が疑われる場合(月経遅延、つわり症状、基礎体温を測定している場合は高温期の持続)は、速やかに医師に相談してください。</u>・ 妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や胎児に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してくださ |
|---|

い。特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。

- ・この薬の使用前及び使用中も定期的に医師や薬剤師が妊娠していないことを確認します。
- ・授乳している人は医師に相談してください。

薬の影響を心配する女性に対し、妊娠と薬情報センターで相談に応じています。

さらに詳しい説明を希望される場合には妊娠と薬情報センターにご相談ください。

《妊娠と薬情報センター》
 (国立成育医療研究センター) 電話：03-5494-7845

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。




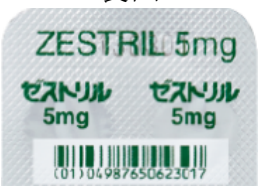



重大な副作用	主な自覚症状
血管浮腫 けっかんふしゅ	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、喉がつまる感じ、息苦しい、声が出にくい
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	体がだるい、むくみ、尿量が減る
高カリウム血症 こうかりうむけっしょう	体に力が入らない、体のしびれ、吐き気、嘔吐、下痢、お腹が張る
腭炎 すいえん	吐き気、嘔吐、強い腹痛、背中の痛み、お腹が張る、体重が減る、喉が渇く、尿量が増える、皮膚が黄色くなる、油っぽい下痢が出る
中毒性表皮壊死融解症 ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、発熱
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん	目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、発熱
天疱瘡様症状 てんぼうそうようしょうじょう	全身の皮膚や粘膜に大小の破れやすい水ぶくれ(水疱)やびらんが多発する
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	体がだるい、めまい、白目が黄色くなる、息切れ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振

黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 こうりによほるもんふてきごうぶんび つしょうこうぐん	けいれん、意識の低下、意識の消失、吐き気、食欲不振

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	体のだるい、体のしびれ、体に力が入らない、力が入らない、体重が減る、疲れやすい、けいれん、発熱、むくみ、体がかゆくなる、出血が止まりにくい
頭部	めまい、意識の低下、意識の消失
顔面	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、鼻血
眼	目の充血やただれ、白目が黄色くなる
口や喉	吐き気、嘔吐、喉がつまる感じ、喉が渇く、声が出にくい、歯ぐきからの出血、唇や口内のただれ
胸部	息苦しい、息切れ
腹部	お腹が張る、強い腹痛、食欲不振
背中	背中痛み
皮膚	皮膚が黄色くなる、あおあざができる、粘膜のただれ、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、全身の皮膚や粘膜に大小の破れやすい水ぶくれ（水疱）やびらんが多発する
尿	尿量が減る、尿量が増える、尿の色が濃くなる
便	下痢、油っぽい下痢が出る

【この薬の形は？】

販売名	ゼストリル錠 5	ゼストリル錠 10	ゼストリル錠 20
PTP シート	表面 	表面 	表面 
	裏面 	裏面 	裏面 
形状	割線入り円形素錠 	割線入り円形素錠 	割線入り円形素錠 
直径	6.0 mm	8.0 mm	8.0 mm
厚さ	2.4 mm	2.7 mm	2.9 mm
重さ	110 mg	210 mg	220 mg
色	白色		
識別コード (PTP シート)	ZNC 201:5	ZNC 202:10	ZNC 203:20

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ゼストリル錠 5 ゼストリル錠 10 ゼストリル錠 20
有効成分	日本薬局方 リシノプリル水和物
添加剤	D-マンニトール、リン酸水素カルシウム水和物、トウモロコシデンプン、アルファー化デンプン、ステアリン酸マグネシウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：アストラゼネカ株式会社

(<https://www.astrazeneca.co.jp/>)

患者様相談窓口

電話：0120-119-703

受付時間：9時～17時30分

(土、日、祝日、会社の休業日を除く)